

令和3年度 平塚盲学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、 職員行動指針の周知 徹底を含む)	常に教育公務員と しての自覚を持 ち、法令遵守によ り公務外非行の発 生を未然に防止す る。	・療養休暇や出張・年休、在宅勤務や兼業・兼 職に係る適切な実施と留意事項を確認した。 ・啓発・点検資料や具体的事例をもとにした意 識啓発や注意喚起を行った。 ・県職員行動指針の周知徹底および教育公務 員としての立場についての再確認を行った。
職場のハラスメント の防止	職場におけるパワ ハラ、セクハラ、 マタハラなどの一 切のハラスメント の根絶を図る。	・どのような言動がハラスメントとなりうるかの ケーススタディと注意喚起を行い、ハラスメント を許さない、風通しの良い職場、相談しやすい 職場づくりに努めた。
幼児児童生徒に対す るわいせつ・セクハ ラ行為の防止	相手の心身を思い やり、人権を尊重 した適切な指導を 行い、わいせつ・ セクハラ行為を防 止する。	・わいせつ事案の根絶に向けて、不祥事を自 分事として考える研修を行い、事例を通して被 害者の気持ちを考えたり、生徒対応の基本事 項を確認したりした。
体罰、不適切な指導 の防止	幼児児童生徒の立 場に立った、人権 を尊重した丁寧な 指導を徹底し、体 罰や不適切な指導 を防止する。	・指導者間での幼児児童生徒の情報共有にも とづく、指導方針や方法についての共通理解 を日常的に積み重ねた。 ・障害特性に配慮した幼児児童生徒に対する 丁寧なわかりやすい対応の実践に努めた。 ・人権に関する全体研修会を実施し、人権に配 慮した言動について学び合いを深めた。
入学者選抜、成績処 理及び進路関係書類 の作成及び取扱いに 係る事故防止	入学者選抜におけ る試験問題作成・ 管理および採点業 務等を適正に実施 する。成績処理や 進路関係書類に係 る事務処理を適切 に行い、事故防止 に努める。	・入学者選抜に係る試験問題作成・管理及び 採点業務等の注意事項を確認し、適正に実施 した。 ・定期試験や成績、進路に係る書類作成にお ける確認・点検を徹底し、書類の保管・管理の 改善を図った。 ・入選問題・定期試験のデータの扱いについて は過去3年分のみに整理した。

個人情報等管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	記録メディアや文書の管理を徹底し、個人情報の紛失・流失や誤配付・誤送信を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ自己チェックリストによる個人の対策、学部や分掌単位での対策について確認し合い、セキュリティ対策を徹底した。 ・保有外部メディアについての調査を行った。 ・配付物のダブルチェックを励行し、誤配付防止に努めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法令遵守を徹底し、交通事故や交通違反の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての意識の向上を常日頃から呼びかけ、交通ルール等の法令理解と遵守の徹底を図った。 ・自分が飲酒運転のつもりがなくても違反となる事例を通し、交通法規違反を起こさないよう注意喚起した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務の効率化や調整を図り、職員間で協力体制をつくりあげ、事故や不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を個人任せにせず、組織として執行していくことを呼び掛けた。 ・文書の作成および執行についての複数チェックの徹底を図った。 ・気がかりな点をそのまま放置せず、迅速な報告・連絡・相談を励行した。
会計事務等の適正執行	公費及び私費会計基準に則り、適正な処理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・私費会計事務と物品管理についてのポイントを整理しながら適正な事務処理に努めた。 ・領収した現金については、領収した日の翌日から5日以内に金融機関に入金することや、立替払いの事前承認の徹底を確認した。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和4年度に取り組むべき課題

今年度も、働きやすく事故・不祥事が起きにくい風通しの良い職場環境づくりに努めることを学校目標に掲げた。そのための取組の内容としては、事故・不祥事防止に向けた校内研修や討議を実施し、職員一人ひとりの当事者意識（自分事としてとらえること）に重点を置いた。今年度の達成状況としては、事故防止会議を校務グループの各チームで担当したり、職員による発表を行ったことで当事者意識が高まり、組織としてどうすればいいのか考え、予防に努めることができたと評価できる。次年度も不祥事防止会議での討議を軸に、重点取組項目について職員がチームとして担当することで、当事者意識を高め、事故・不祥事の予防につなげていきたい。